

1. はじめに
 - 自然と自然の関係、人と自然の関係、人と人の関係
2. 日本における伝統的「社会観」について
 - 人間と自然の社会
 - 生者と死者の社会
3. 伝統社会における祭り、年中行事の役割
 - 自然とともに生きていることを確認する
 - 地域をつくった「先輩たち」とともに生きていることを確認する
4. 自然を利用する、自然に神をみる
 - 多層的な真理を感じながら生きた人々
 - 森の中の大木はなぜ残ったのか
 - 動物に対して人々は何を感じているのか
5. 利用することによって生まれた自然、信仰に支えられた自然
 - 関係の多様性と自然の多様性
6. 私たちは自然を何によってとらえたらよいのか
 - 知性、身体性、霊性＝生命性の視点から
7. まとめに代えて
 - 自然と関わった人の営みについて考える